

トルコのエネルギー展望

原子力発電の導入

バトウ・ケスメン
在日トルコ大使館
副館長兼参事官



すべてのエネルギーセクターでの需要の急速な伸び

- トルコの電力需要:
年率は約7%
→ エネルギー需要の増加割合では、トルコは中国に次いで世界第2位。
たとえば2011年から2012年にかけては、天然ガスの需要は25%増大した。

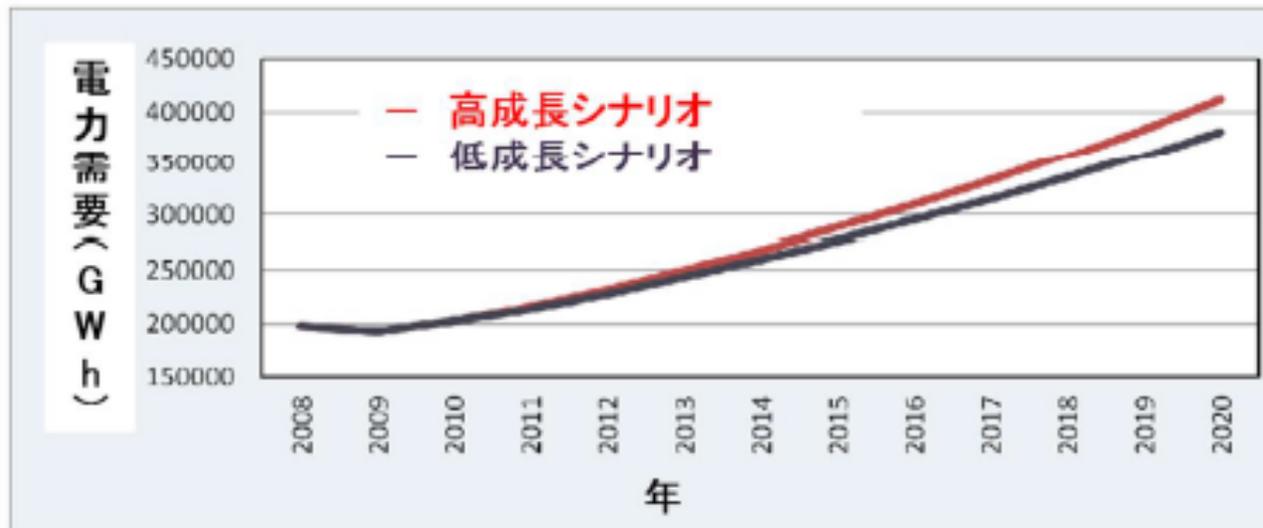
トルコの2023年のビジョン

- 2023 年はトルコ共和国建国100年記念に当たる。
- 主要目標：
トルコを世界の経済大国トップ・テンにする。
→国民一人当たりの収入 = 25,000 米ドル
総輸出額 = 5000億米ドル超

電力需要はさらに伸び続ける

- 2012年の需要 : 2,400億kWh
- 2023年の需要 : 5,000億kWh

2020年までの電力需要は、年率平均で
6.7%(低成長シナリオ)~7.5%(高成長シナリオ)
で増加



エネルギー輸入への大きな依存

- トルコの輸入：
 - 天然ガスの98 %
 - 石油の92%
 - 石炭の30%

総エネルギー資源の輸入依存度 = 74%

トルコのエネルギー基本戦略

- a) エネルギーを安全、確実、途切れることのない潤沢に供給するために、トルコのエネルギー供給ルートと調達先国を多様化
- b) トルコのエネルギー・ミックスに原子力を導入し、再生可能エネルギーのシェアを増大
- c) エネルギー利用効率の向上

エネルギー能力の現状

- トルコの国内資源：
総エネルギー需要のわずか26%程度
- トルコの総発電設備容量：
約5,600万kW(2012年)
 - 46% : 天然ガス
 - 25% : 石炭
 - 24% : 水力
 - 3% : 水力以外の再生可能エネルギー

トルコの2023年のエネルギーの能力は1億kW この実現には1,200億米ドルの追加投資が必要

- 2023年の再生可能エネルギー : 30%
 - 水力 : 3,600万kW (再生可能エネルギーの58.4%)
 - 風力 : 2,000万kW (32.4%)
 - ソーラー : 300 万kW (4.9%)
 - バイオマス: 200 万kW (3.2%)
 - 地熱 : 60万kW (1.0%)
- 天然ガスは30%に削減。一方、石炭と石油の合計シェアは約30%に。
- **原子力 : 10%**
- 再生可能エネルギーは、原子力エネルギーに対する競合相手ではなく補足的資源である。

トルコの原子力発電プラントの将来



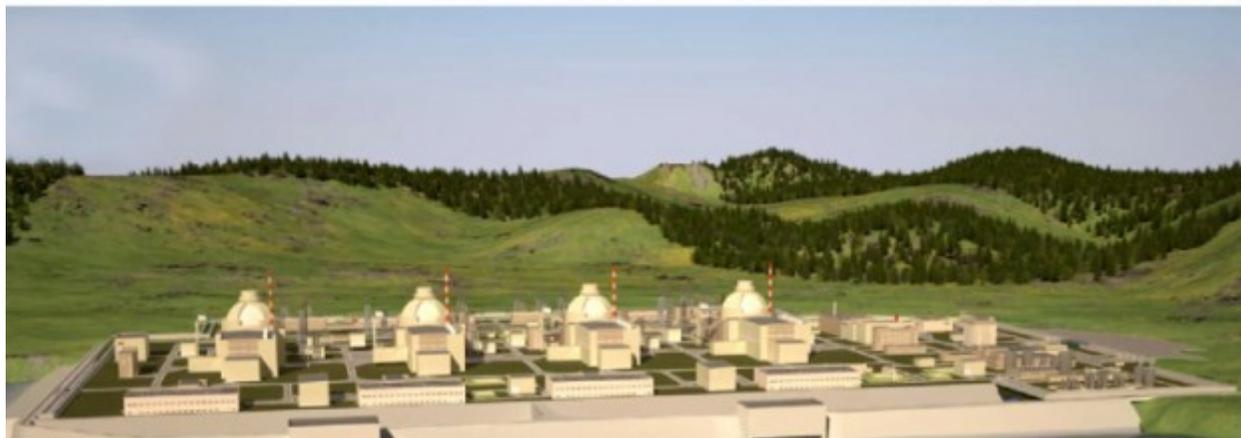
アックユ原子力発電プラントの候補サイト



アックユ・サイト

シノップ原子力発電プロジェクト

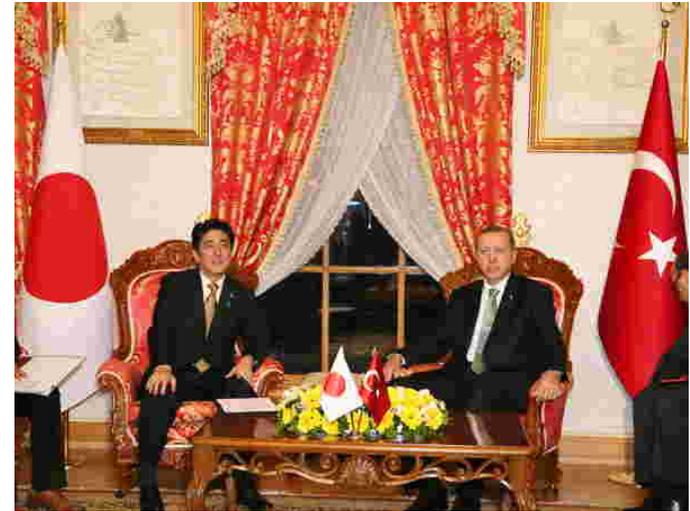
<http://www.aa.com.tr/en/tag/172208--nuclear-plants-to-help-turkey-shave-7-2-bn-off-energy-imports>



エネルギー輸入コスト vs 原子力発電の導入

- トルコのエネルギー輸入コストは、トルコの総輸入支出額の20%を超えている。
これはこのコストが毎年500億米ドル以上に上ることを意味する。この高額なエネルギー輸入コストが現在のトルコの赤字勘定の元凶となっている。
- アックユとシノップの原子力発電所からの合計発電量は年間で約800億kWhになる。この発電量をもたらすには160億m³の天然ガスの使用が必要になる。これはトルコにとっては毎年約**70億米ドル**の輸入コストを支払うことになる。

戦略的パートナーシップ



安倍首相の2度目のトルコ訪問
(2013年10月)

「トルコと日本の戦略的パートナーシップ構築に関する共同宣言」の署名式での安倍首相とエルドアン首相 (2013年5月3日、トルコ)

エルドアン首相の日本訪問

2014年1月



シノップ原子力発電プロジェクトにおける 重要協力分野

- 人材育成
- トルコ国内産業の参加 (国産化)
- ノウハウと技術の移転

- 建設と運転のライセンスならびにその他の関係する法・規制枠組みも、協力の重要項目となる可能性がある。

- シノップ原子力発電プロジェクトは、トルコと日本の経済、商業、科学技術の協力関係に数学でいう「乗数的な」効果をもたらす。

ありがとうございました

